

保証書

持込修理

Design and Style

電気ケトル 1.2L

品番	DS.8694		お買い上げ販売店名印
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
お買い上げ日		年 月 日	
保証期間		お買い上げ日より1年間	

〈本製品に関するお問い合わせは〉

日本洋食器株式会社

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1949
TEL : 0256(92)3145
http://www.nihon-yoshokki.co.jp/

本書はお買い上げ日より、上記期間内において正常な使用状態で故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、下記をご参照ください。

- 保証期間中、取り扱いについての説明書等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、当社、又はお買い上げ販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買い上げの販売店が無料修理をいたします。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、当社、又はお買い上げ販売店へ直接お問い合わせください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 本製品以外の他の機器によって生じた故障及び損傷。
- 下記の部品は消耗品です。保証期間内でも有料になります。
〈蒸気パイプのキャップ・ふた〉
- 本機は持込修理の対象商品ですので、保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- この保証書は、本書に明示した期間の、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は当社に直接お問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- ご贈答等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理が依頼にならない場合は、当社へ直接お問い合わせください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、当社に直接お問い合わせください。

MADE IN CHINA
2206

家庭用

Design and Style

電気ケトル 1.2L DS.8694

取扱説明書



目次

・安全上のご注意／使用上のご注意	1～3
・各部の名称	4
・正しい使い方／お湯の沸かし方／使い終わったら	5～8
・お手入れの方法	9～10
・仕様	10
・故障かな…	11
・交換用部品の販売	11
・保証とアフターサービス／個人情報のお取り扱いについて	12
・廃棄するときは	12
・保証書	裏表紙

保証書 付

このたびは「Design and Style 電気ケトル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品の機能を十分に生かして正しくご使用ください。『ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、お読みいただいた後は必ず保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立てください。』

安全上のご注意

必ずお守りください。

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと、切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示
の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



警告



必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コード・電源プラグが異常に熱くなる
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 発煙・発火する
- 製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ビリビリと電気を感じる
- 誤って水(お湯)をかけてしまった

このような場合には、すぐに電源プラグを抜いて、当社(裏表紙)

または販売店に必ず点検・修理を依頼する



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。

※感電・火災・けが・故障のおそれがあります。



禁止

危険ですので、乳幼児や子供の近くでの使用、また子供だけで絶対使用させない。本体と電源プレートの接続部や電源プラグをなめさせない。

※感電・やけど・けがのおそれがあります。



禁止

ケトル本体の底部や電源プレートを水洗いしたり、水につけたり、水をかけたりしない。

※感電・破損・故障のおそれがあります。



禁止

使用中・使用直後は高温部(取っ手・ふたつまみ以外)や蒸気に触れない。

※やけどのおそれがあります。



強制

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。また、お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてから行う。

※火災・感電のおそれがあります。



禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。

※感電・けが・やけどのおそれがあります。



警告



強制

電源プラグは根元まできちんと差し込む。

※火災・感電のおそれがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり束ねたり、重い物を載せたり、加熱したりしない。

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



禁止

交流100V以外では使用せず、コンセントや配線器具の定格を超える使用もしない。

※火災・感電のおそれがあります。



強制

定格15A以上のコンセント・延長コードを単独で使用する。

※他の器具と併用すると火災・感電・発火のおそれがあります。



禁止

タコ足配線はしない

※火災のおそれがあります。



禁止

ビニール・合成繊維・カーテン・たたみ・敷物など、熱に弱いものの近くでは使用しない。本体の上に乗せない・下に入れない。

※火災のおそれがあります。



禁止

不安定な場所で使用しない。

※火災のおそれがあります。



禁止

壁や家具の近くでは使用しない。

※蒸気や熱で壁や家具を傷めたり変色・変形のおそれがあります。



禁止

ガラス窓の近くで使用しない。

※破損のおそれがあります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない。

※破損・やけどのおそれがあります。



禁止

直火(ガスコンロ・電気ヒーターなど)、電磁調理器(IH)、電子レンジなどに使わない。

※火災・変形・故障のおそれがあります。



禁止

本体に衝撃を加えない。破損や変形した場合は使用しない。

※過熱・異常動作・感電・火災のおそれがあります。



禁止

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったりしない。

※やけどのおそれがあります。



禁止

ケトルを転倒させない。

※お湯が出てやけどのおそれがあります。



禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがない。

※やけど・故障のおそれがあります。



禁止

本体・電源プレートの穴や器具用プラグ、電源プラグのすき間に、指やピン、針金などの金属物など、異物を入れない。

※感電・故障・火災のおそれがあります。



強制

蒸気水滴となって本体の底や電源プレートに付着した場合は乾いたふきんで拭きとってください。

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



禁止

専用の電源プレート以外は使わない。また、専用の電源プレートを他の機器に転用しない。

※発火・故障のおそれがあります。

使用上のご注意



注意



牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しない。

禁止

※やけど・故障・汚損のおそれがあります。



氷を入れるなどして保冷用に使わない。

禁止

※感電・故障のおそれがあります。



MAXライン(満水)目盛り以上の水を入れない。

禁止

※お湯が飛び出し、やけど・感電・けがのおそれがあります。



湯沸かし中は、移動させない。

禁止

※やけどのおそれがあります。



湯沸かし中や沸騰後はケトル本体が熱くなっています。ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけない。

禁止

※やけどのおそれがあります。



使用中、使用直後に取っ手以外のケトル本体および注ぎ口には触れない。

禁止

※やけどのおそれがあります。



ふたを持ってケトル本体を移動させない。

禁止

※お湯が出てやけどのおそれがあります。



ふたを勢よく閉めない。

禁止

※お湯が吹きこぼれ、やけどのおそれがあります。



お手入れの時など、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

強制

※火災・感電のおそれがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。

強制

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードをひっかかないよう注意する。

強制

※やけど・けが・破損のおそれがあります。



お手入れは本体・電源プレートが冷えてから行う。

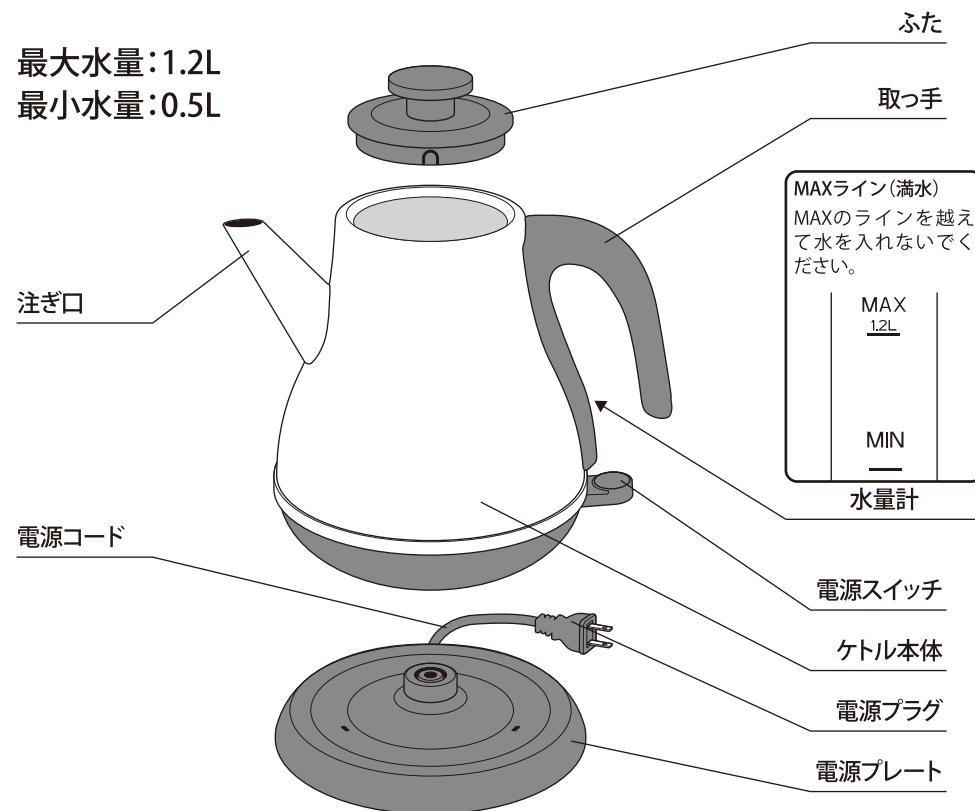
強制

※やけどします。

- ケトルに水が入っていないときは、電源スイッチを入れない。
- ふたを開けたまま、湯を沸かさない。
- 備長炭・ビン・カップなど、水以外のものをケトルの中に入れない。
- 本製品は一般家庭用の湯沸かし専用です。業務用として使用しない。
- 直射日光が当たる場所での設置・使用はしない。
- 長期間使用しないときは、十分に乾燥させたあと、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管する。
- 2日以上使用しなかったときは、内部をよくすすぐ。

各部の名称

最大水量:1.2L
最小水量:0.5L

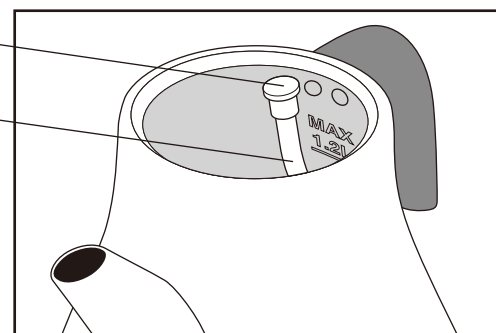


- 本製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れることで加熱が始まります。
- 空だきをすると、本体の安全装置が働き、ヒーター部への通電が自動的に切れます。

キャップ

蒸気パイプ

※キャップは付けたままご使用ください。沸騰を正確に検知するために必要です。

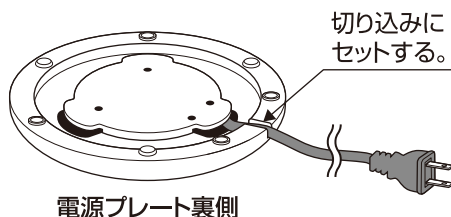


正しい使い方

1 電源コードをセットする。

- 電源コード全体を電源プレート裏側からのばし出してください。

- ⚠ ●電源プレートの切り込みに電源コードを確実にセットしてください。

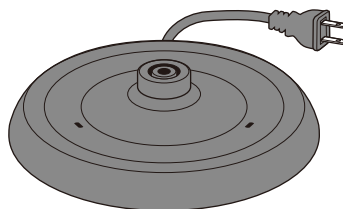


コードリール式ではありません。電源コードをひっぱって長さを調節することはできません。

2 電源プレートを置く。

- 電源プレートは清潔で平らな場所に置きます。

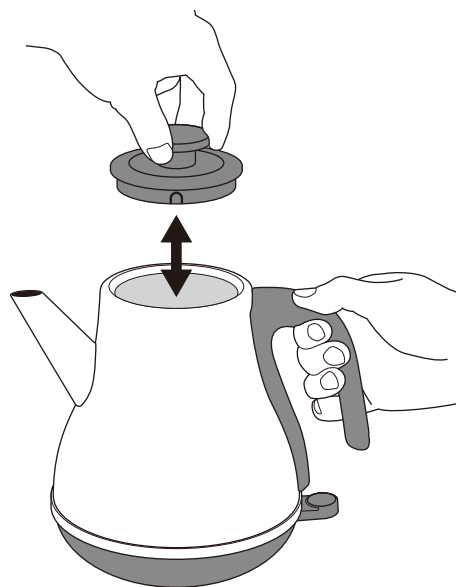
- ⚠ ●付属の電源プレート以外は使用しないでください。



3 ふたの開け方、閉め方

- 開けるときはケトル本体の取っ手を持って、ふたをつまみあげてください。
- 閉めるときはケトル本体の開口部にしっかりと押し込んでください。

本製品は、工場出荷前に水を入れて検品をしています。まれに、ケトル本体内側に白い跡が残っていることがありますが、検品時の水の跡です。ですので、安心してお使いいただけます。



お湯の沸かし方

1 ケトル本体に必要な量の水を入れ、ふたを閉める

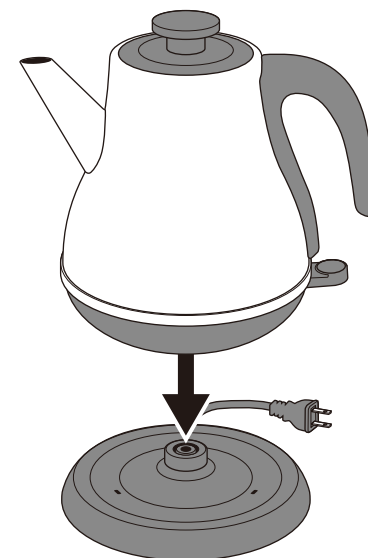
水量目盛りが一番下の線“MIN”(0.5L)より少ない水量でも沸かすことができます。ただし、MIN(0.5L)以上でのご使用をおすすめしています。

- ⚠ ●初めて使用する時は、MAXライン(満水)まで水を入れて沸騰させてください。これを3回繰り返し、水でよく洗ってください。
- 電源プレートの上にケトル本体を載せた状態で水を注ぐことはおやめください。
- 水を入れすぎた場合、熱湯が飛び出すことがありますので、MAXライン(満水)以上は水を入れないでください。
- 空だきをしないでください。
- 水以外のものは沸かさないでください。
- ふたがしっかり閉まっているのを確認してください。ふたがきちんと閉まっていなかったり、お湯が沸いてもスイッチが切れない場合があったり、湯沸かし中にふたが開いたり、お湯を注いでいる時にふたが外れ危険です。



2 ケトル本体を電源プレートに正しくセットする。

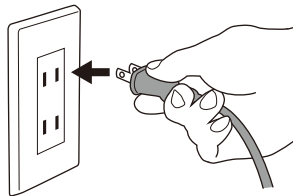
- ケトル本体が安定していることを確認してから手を放してください。



お湯の沸かし方 (つづき)

3 電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込む。

- ⚠ ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

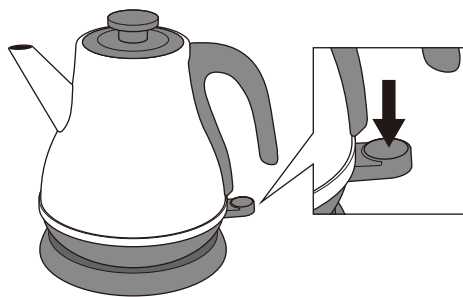
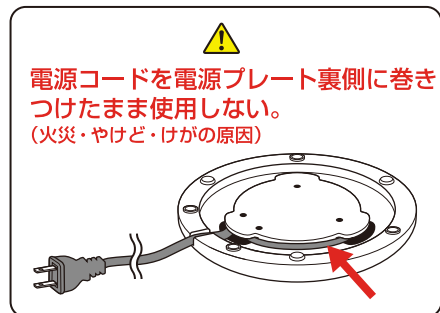


4 電源を入れる。

- 取っ手の下にあるスイッチを下に押して電源を入れます。湯沸かし中は電源スイッチのランプが点灯します。

- ⚠ ●湯を沸かしている最中は、絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたり、ケトル本体に触れたりしないでください。やけどをします。

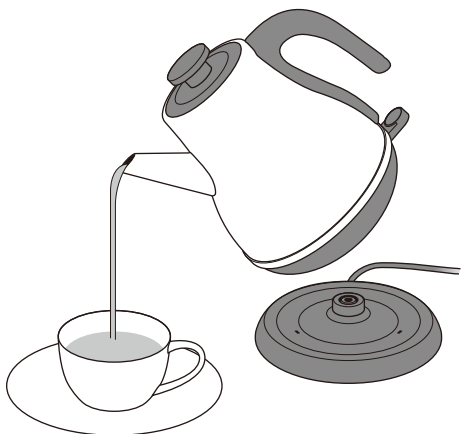
- お湯が沸騰すると電源スイッチは自動的に切れます。(電源スイッチが元に戻りランプが消灯します。)
●お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
●お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチを押し上げる、またはケトルを電源プレートから持ち上げてください。(電源スイッチが元に戻らない場合は、スイッチを押し上げてください。)



5 お湯を注ぐ。

- 沸騰状態がおさまってからお湯を注ぎます。おさまる前に注ぐとお湯や蒸気が思わぬところから噴き出すことがあり、やけどのおそれがあります。特に沸騰直後は、お湯を注ぐ際にふたの周りから蒸気が出ることがありますので、ご注意ください。

- ⚠ ●電源スイッチが切れていることを確認し、本体を電源プレートからはずしてお湯を注ぎます。
●ケトル本体を電源プレートに戻す時は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を放してください。
●保温機能はついていません。
●連続のご使用は、1～2分間、時間を空けてください。



お湯の沸かし方 (つづき)

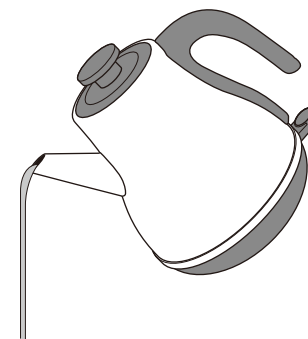
- ⚠ ●お湯を注ぐ際、急にケトル本体を傾けないでください。注ぎ口からお湯が飛び出すおそれがあります。
●取っ手以外のケトル本体および注ぎ口は非常に熱くなります。やけどをするので、触れないでください。
●沸騰直後にふたを開けないでください。
●本製品には給湯ロックの機能はありません。注ぎ口からは、常にお湯が出る状態です。
●注ぎ口から出る蒸気や、ふたを開けるときに出る蒸気に触れないでください。
●湯沸かし中・沸騰中はお湯を注がないでください。

- 使用後しばらくすると、カチンと音がすることがありますが、これは熱くなった各部品が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。
●蒸気を感じて電源スイッチが切れる仕組みになっています。蒸気が取っ手の下から水滴になって垂れることがありますが、故障ではありません。

使い終わったら

- ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●ご使用後は、水あかの付着をおさえるため、お湯を残さず、ケトルを空にしてください。

連続して使用したあとは、個人差により取っ手が熱く感じる場合があります。



お手入れの方法

ケトル本体外側のお手入れ

- 本体が冷めてから、柔らかい布で拭いてください。
- がんこな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませて軽くこすり、拭き取ってください。

- ⚠ ●必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- ケトル本体と電源プレートを水に浸けることは絶対におやめください。
- 磨き粉や金属たわし、漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり変色します。



ケトル本体内側のお手入れ

- 水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかり拭いてください。
- 内側に汚れが目立ってきたら、定期的にお手入れをしてください。なお、本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、白い斑点、赤さび状の斑点など）は、水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありませんが、ミネラル成分がたまると、湯沸かし中の音が大きくなる原因になったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯に混じることがあります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を沸かしたときは、こまめにお手入れしてください。

- ⚠ ●内側のステンレス部分をお手入れする時は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつきます。
- 熱や蒸気に触れる樹脂部品は、ご使用にともなって傷んでくる場合があります。変色したりザラザラしてきた場合は修理にて交換してください。



ふたのお手入れ

- ふたは、柔らかいスポンジと中性洗剤で洗ってください。よく乾かしてから本体に取り付けてください。

お手入れの方法 (つづき)

汚れが落ちにくい場合：クエン酸を使ってのお手入れ方法

1. 水をMAXライン（満水）まで入れ、その中にクエン酸（15g程度）入れ、かき混ぜます。
2. ふたを閉めて沸騰させ、その後、約1時間放置します。
3. お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
4. クエン酸のにおいが気になるときは、水だけを入れて再度沸騰させ、お湯を捨ててください。

仕様

電源	AC100V 50-60Hz
消費電力	1200W
定格容量	1.2L
外形寸法	約212(W)×161(D)×223(H)mm（※電源プレート含む）
質量	約800g（※電源プレート含む）
電源コードの長さ	約72cm
原産国	中国

※製品仕様は、製品改善のため予告無く一部変更することがあります。

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
This warranty is valid only in Japan.
- この商品は、屋内専用です。
This warranty is valid only indoor.

故障かな…

こんなとき	原因	対処方法
ケトルが動作しない、 または沸騰前に 止まってしまう	コンセントにプラグが入っていない。	電源プレートの電源プラグを確実に コンセントに差し込んでください。
	沸騰直後は、電源を自動的に切るための センサーが熱くなり、電源が入らない場合 がある。	センサーが冷めるまでしばらく待ってから、 電源を入れてください。
	空だきしたため、安全装置が作動して ヒーター部への通電が自動的に切れた	ケトル本体を電源プレートから外し、 熱を冷ましてから水を入れてください。
水が漏れる・噴き出す	MAXライン(満水)より多く水が入っている。	水量をMAXライン(満水)以下に減らして ください。
	水以外の飲料が入っている。	水以外は入れないください。
使用中に電源が切れた	空だき防止機能が働いた。	ケトル本体を電源プレートから外し、 熱を冷ましてから水を入れてください。
沸騰しても電源が切れない 沸騰まで時間がかかる	MAXライン(満水)以上の水が入っている。	水量をMAXライン(満水)以下に減らして ください。
	ふたが閉まっていない。	ふたをきちんと閉めてください。
使用中電源が入ったり切れ たりする 沸騰する前に電源が切れる	ケトル内部に白っぽい粉状の汚れが たまっている。	ケトル内部に白っぽい粉状の汚れがたまっ ていた時は「汚れが落ちにくい場合」(10 ページ)を参考にお手入れしてください。

●以上のことを調べていただき、なお異常のあるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、または「日本洋食器株式会社」にご相談ください。

これは故障ではありません	
ケトル本体が熱い	お湯が沸いた時のケトル本体表面は、大変熱くなります。
ケトル内部(底部)に斑点が 出る	余熱(一時的な空だき状態)による金属の変色です。異常ではありません。

交換用部品の販売

お客様に長くお使いいただけるよう、交換用
部品の販売を承っております。

●詳細はホームページをご参照ください。 <http://nihon-yoshokki.co.jp/DS2.html>

<部品購入までの流れ>

- 1 メールフォーム(ホームページ上部「お問い合わせ」)・TEL いずれかにて
ご希望の部品名をご連絡ください。
- 2 当社より部品の在庫状況、および費用詳細をご連絡申し上げます。
- 3 先に合計金額を下記の振込先へお支払いをお願いいたします。
- 4 ご入金が確認でき次第、ご指定場所(日本国内のみ)へ発送いたします。

※ 発送は、通常ご注文頂いてから2～3日で発送となります。(在庫切れの場合は連絡させていただきます)
※ お振込み手数料はお客様でご負担ください。

振込先 / 第四北越(ダイシホクエツ)銀行 燕(ツバメ)支店、当座 No.0106516
【口座名:ニホンヨウシヨッキ(カ) 金融機関コード:0140 支店番号:351

日本洋食器株式会社 〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1949番地 TEL 0256(92)3145

保証とアフターサービス 持込修理

1 この製品には、本書の裏表紙に保証書がついています。

お買い上げ販売店で所定事項の記入をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって大切に保管してください。所定事項の記入がないと保証は有効となりませんので、そのときはお買い上げの販売店へ記入をお申し付けください。

2 保証期間中に修理を依頼されるとき

この取扱説明書をよくお読みいただき、異常がある場合はお買い上げの販売店に保証書をご提示の上、修理を依頼してください。保証書の規定により無償で修理、または製品の交換をさせていただきます。

3 保証期間後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

4 補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切後、最低6年間保有しております。

※お客様ご自身で修理や改造することは危険ですので、絶対におやめください。

5 本製品使用中、万一不具合により調理を行うことができなかった場合

そのことによる損失の補償、または使えなかったことによる付随的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

●個人情報のお取り扱いについて

お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客様がお電話でご相談、ご連絡をいただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

〈利用目的〉お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。

〈業務委託の場合〉上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な監理・監督をいたします。

廃棄するときは

地方自治体のルールに従ってください。

～メモ～

～メモ～